

那覇市自転車活用推進計画

概要版

令和5年(2023年)3月

第1章 計画の概要

1.1 計画対象区域

本計画の区域は那覇市全域とし、隣接市町とのネットワークのつながりにも配慮するものとします。

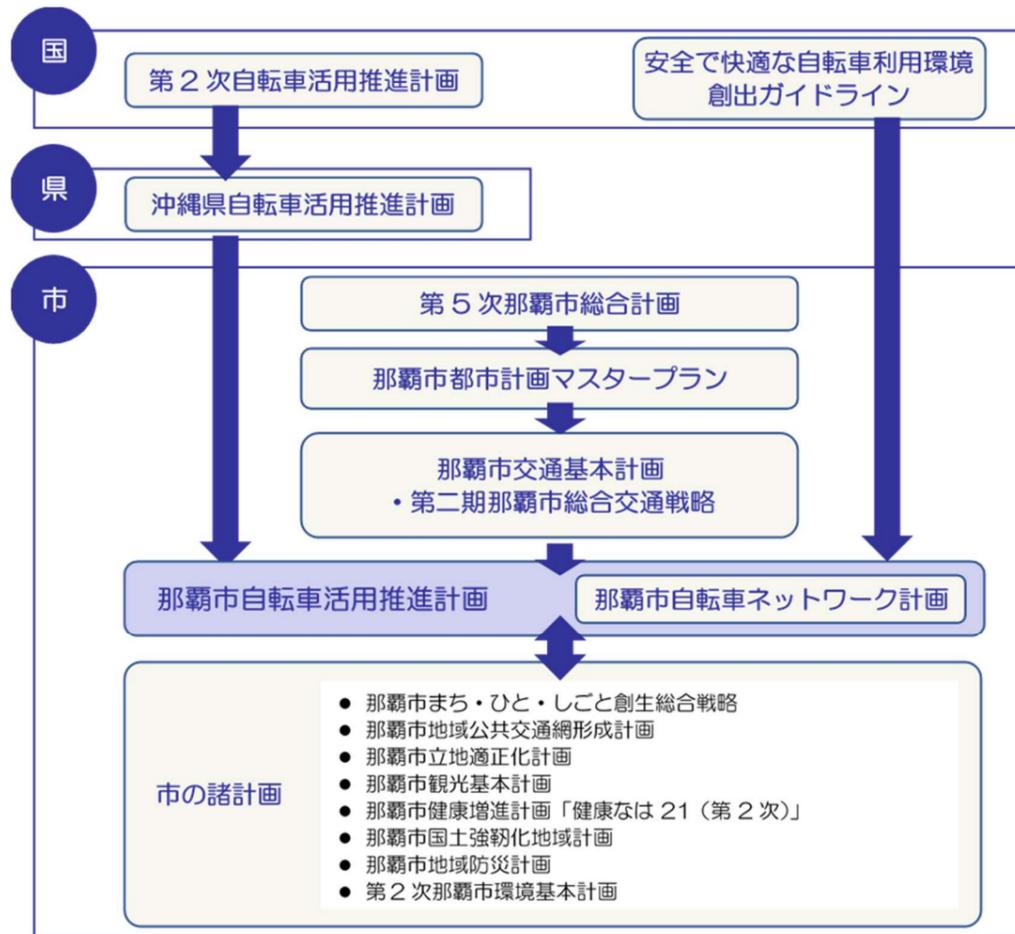
1.2 計画期間

自転車ネットワークの整備など、推進には長期的な視野を持って対応する必要があることから、計画期間は令和5年度から令和14年度の10年間とします。進捗状況を確認しながら必要に応じて見直しを行います。

1.3 計画の位置づけ

本計画は、国の「第二次自転車活用推進計画」、沖縄県の「沖縄県自転車活用推進計画」および本市の最上位計画である「第5次那覇市総合計画」、「那覇市交通基本計画」を上位計画とし、まちづくり、交通、観光、健康、防災などの関連計画とも連携や整合を図りながら、幅広い地域課題に対応していきます。

平成30年3月に作成、令和2年3月に改定した「那覇市自転車ネットワーク計画」については、本計画の一部に位置づけ、引き続きネットワークの整備を推進していきます。



第2章 現況・課題および施策展開

2.1 那覇市における現況

国の活用推進計画における自転車の活用推進に関する目標を踏まえ、那覇市における自転車を取り巻く現状として、「都市環境」、「健康」、「観光」、「安全・安心」の視点より整理を行いました。

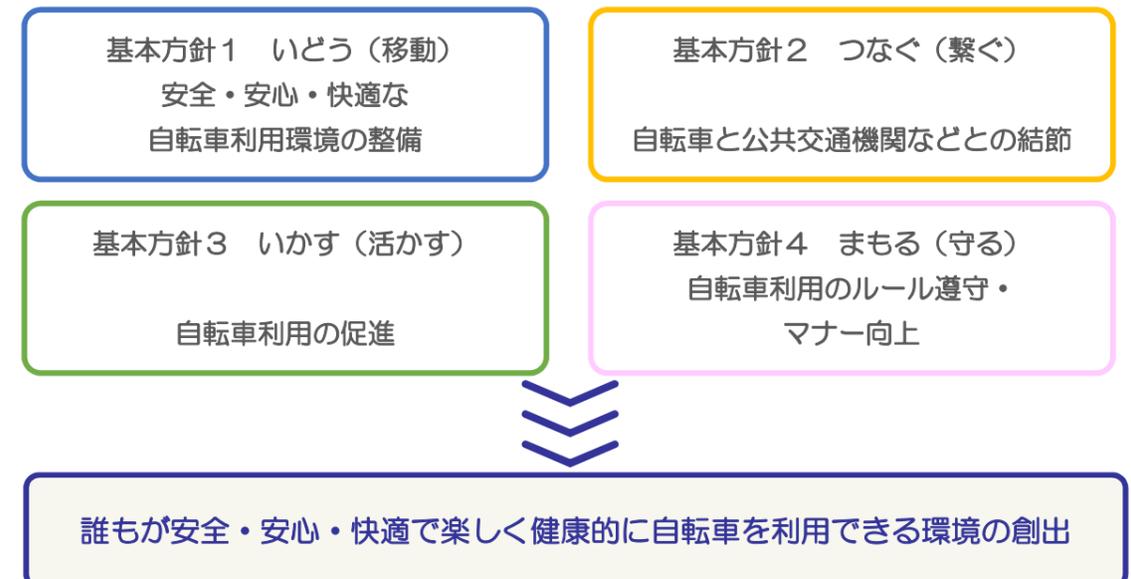
都市環境	<ul style="list-style-type: none"> ● 高齢化の進展 ● 東部首里地区で勾配が多く自転車移動が不便 ● 自転車の利用が少ない一方で、クルマ利用は多く、慢性的な渋滞 ● 自転車ネットワークの整備率が6.7%で断続的 ● 自動車の駐停車両が、自転車の車道走行を阻害 ● 駐輪施設の整備を進めているが、自転車推進にあたってさらに必要 ● シェアサイクルのポート数・利用者数ともに増加傾向 ● 運輸部門の二酸化炭素排出量が年々増加
健康	<ul style="list-style-type: none"> ● 運動習慣を持たない割合が6割 ● 平均寿命は延伸
観光	<ul style="list-style-type: none"> ● 新型コロナウイルスの影響で観光客が減少 ● 二次交通はレンタカー利用が多く、渋滞に拍車 ● 勾配の多い市東部に史跡が多く分布 ● サイクリングコースの紹介やガイドツアーを実施
安全・安心	<ul style="list-style-type: none"> ● 自転車ルールの定着が不十分 ● 交通安全教育を受けている高齢者数が少ない ● 災害の初動対応等に自転車を活用する事例が増えている

2.2 施策展開の基本方針

基本方針については、「那覇市自転車ネットワーク計画」の方針である4つの柱を引き継ぎながら、より総合的に自転車利用を推進していきます。

2.3 計画目標

基本方針の4つの柱を推進することにより、目指すまちの姿を計画目標として決めました。

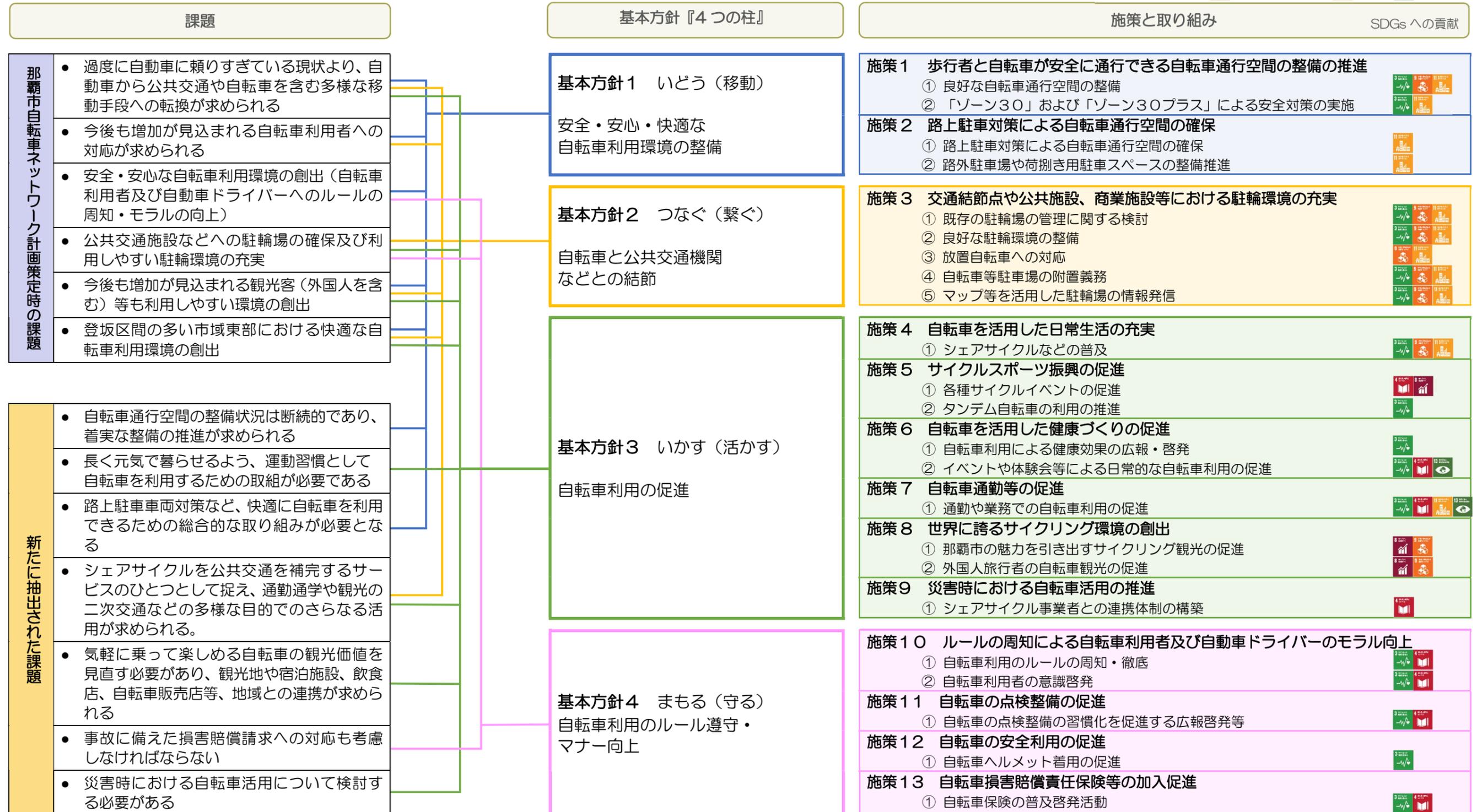


第3章 施策展開

3.1 施策体系

那覇市自転車ネットワーク計画策定時の課題および、第2章で新たに抽出された課題を踏まえ、計画目標を達成するための施策体系を以下に示します。

SDGsのゴール 保健 教育 成長・雇用 イノベーション 都市 気候変動



第4章 那覇市自転車ネットワーク計画

4.1 那覇市内外を移動する自転車ネットワークの構築

本市の自転車ネットワーク路線は、以下の8つの項目により選定しています。
この自転車ネットワークの構築と連携し、自転車活用を推進していきます。

- ①地域内における自転車利用の主要路線としての役割を担う公共交通施設、学校、地域の核となる商業施設及びスポーツ関連施設等の大規模集客施設、主な居住地区等を結ぶ路線
- ②自転車と歩行者の錯綜や自転車関連の事故が多い路線の安全性を向上させるため、自転車通行空間を確保する路線
- ③自転車通学路の対象路線
- ④地域の課題やニーズに応じて自転車の利用を促進する路線
- ⑤自転車の利用増加が見込まれる、沿道で新たに施設立地が予定されている路線
- ⑥既に自転車の通行空間（自転車道、自転車専用通行帯、自転車専用道路）が整備されている路線
- ⑦自転車を利用した周遊観光を促進するために必要な路線
- ⑧その他自転車ネットワークの連続性を確保するために必要な路線



第5章 計画推進とフォローアップ

5.1 計画の推進体制

計画の実現に向けて、市民、企業、関係団体、行政（国・県・市）、交通管理者、学校、公共交通事業者など、さまざまな主体が連携・協働して取り組みを進めていきます。

5.2 計画のフォローアップ

今後、道路管理者等においては、関係各機関と連携・協働し、路線ごとの交通状況等を踏まえた自転車通行空間の整備等の検討を進め、基本方針1「いどう（移動）」の施策の推進を図ります。

基本方針2～4「つなぐ（繋ぐ）」「いかす（活かす）」「まもる（守る）」についても、関係機関と連携・協働しながら具体的な施策へ展開していくものとします。

また、各施策の推進にあたっては、シェアサイクルなどのプローブデータやオープンデータなど、情報通信技術を活用するとともに、各施策の進捗状況などに関するフォローアップを実施し、その結果を公表します。

なお、施策・事業を適正に管理、評価するために、客観的かつ定量的で計測可能な指標を設定しました。

目標の進捗状況や、自転車需要の変化、ガイドラインの改定等を踏まえたうえで、必要に応じて指標の見直しを図り、計画目標の達成に向け計画のブラッシュアップを図ります。



図 5-1 計画のフォローアップ

指標	基準値 (令和4年度時点)	目標値 (令和14年度)	指標の測定方法
那覇市自転車ネットワーク計画に基づく自転車通行空間の整備※1	2.9km※2	17.9 km	道路管理者へのヒアリング
シェアサイクル用駐輪場	67箇所※3	110箇所	シェアサイクル事業者へのヒアリング
常住地別通勤・通学時の自転車利用率	5.1%※4	6.0%※4	国勢調査

- ※1 市道のみ対象、道路の両側を整備（片側のみの整備の場合は片側のみの延長を計上）
- ※2 令和3年度末時点の総延長
- ※3 令和3年度末時点の那覇市シェアサイクル事業における駐輪場（民地も含む）
- ※4 基準値については令和2年度国勢調査、目標値については令和12年度国勢調査を設定